

生涯学習だより

安曇野市教育委員会

童謡祭り

郷土の詩人・藤森秀夫を顕彰

「めえめえ児山羊」の作詞者である藤森秀夫(詩人・ドイツ文学者・豊科出身)の業績を顕彰し、「子どもたちによい歌を」という願いを込めて開催してきた童謡祭りも、本年度で45回目を迎えます。歌の好きな子どもたち、童謡唱歌や合唱を愛好している皆さん、「こどもの日」に集い、懐かしい日本の歌や名歌を楽しみましょう。

第27回作詞作曲コンクール

表彰・最優秀曲、優秀曲の披露

招待演奏会

第1部 A J Cあづみのジュニアコーラスによる児童合唱、安曇野市童謡唱歌を歌う会による懐かしい歌、豊科コーラス団体による藤森秀夫の作品披露

第2部 声楽家(ソプラノ)幅谷恵理さんによる童話でたどる四季

日時 5月5日(祝・こどもの日) 午前9時30分
 場所 豊科公民館ホール
 入場料 無料
 主催 童謡祭り実行委員会
 共催 安曇野市教育委員会
 豊科公民館(TEL72・2158、FAX73・6401)



幅谷恵理さん

A J Cあづみのジュニアコーラス



春の早春賦関連行事

春・安曇野は早春賦がいっぱい
 唱歌早春賦は、大分出身の作家・吉丸一昌が春を待つ安曇野をうたったものといわれています。早春賦音楽祭は1985年から開催されてきましたが、音楽を愛する人々によって「早春賦の心」は年々広がっています。この季節にあわせ、市内さまざまな音楽会が開催されます。

4月29日(火)

第25回早春賦まつり
 春らんまんの安曇野で、清らかな合唱・合奏をお楽しみください。
 時間 午前11時
 場所 穂高川右岸早春賦碑前
 主催 早春賦まつり実行委員会
 商工観光課観光振興担当係
 (TEL77・3111 FAX77・6060)

第7回早春賦まつりコンサート
 時間 午後1時30分
 場所 あづみ野コンサートホール
 (TEL82・6419 FAX82・964)

9419
 主催 あづみ野コンサートホール・早春賦愛唱会
 ※参加料・入場料無料

5月4日(日)

第4回あづみの公園早春賦音楽祭
 公園内には音楽ステージがたくさん！アルプスのすそ野で、春の訪れを感じてみませんか。
 時間 午前10時～午後4時
 場所 国営アルプスあづみの公園
 ※当日入園無料・雨天決行

内容 音楽フリー広場(公募ステージ)／あづみのジュニアコーラス／楽しく踊ろう！フォークダンス／小中重唱コンクール優秀団体演奏／わらべ歌広場 ほか
 特別ゲスト チェリッシュ(FM長野公開録音)
 主催 あづみの公園早春賦音楽祭実行委員会
 園文化課(TEL62・3001 FAX62・3525・代)

5月25日(日)

第23回安曇野早春賦音楽祭

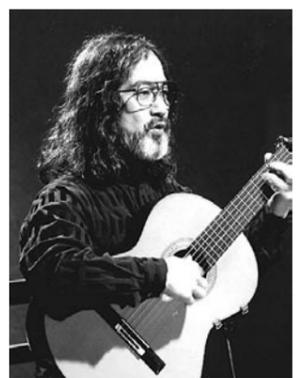
本ステージ
 早春賦の故郷で、心をあわせて演奏・鑑賞しましょう。
 時間 午後1時30分
 場所 穂高会館講堂
 入場料 前売り500円(小中高生無料)
 内容 オープニング・早春賦の翼にのって「安曇野に寄せた心の詩」招待演奏 ほか
 ゲストステージ 渡辺しおり(ソプラノ)「早春賦への贈り物」・ママノリア「心にひびくサウンドin安曇野」
 主催 早春賦音楽祭実行委員会・早春賦愛唱会(TEL82・7290)
 穂高会館(TEL82・5970 FAX82・3990)



早春賦まつり

豊科近代美術館 音に恋した美術展コンサート

春の特別展「音に恋した美術展」にあわせ、コンサートを開催します。市在住の手仕事屋さち兵衛さんの繊細で透明感のある歌声と、独特な言葉の表現をお楽しみください。
 出演 手仕事屋さち兵衛(シンガーソングライター)
 日時 5月11日(日)
 開演 午後2時(開場 午後1時30分)
 観覧料 (入館料込み)
 一般 1,000円
 大高生 700円
 小中生 500円
 会場 豊科近代美術館 多目的ホール
 豊科近代美術館(TEL73・5638 FAX73・6320)



手仕事家さち兵衛

田淵行男記念館 雪形探訪北アルプス編

田淵行男が研究した雪形と山野草を中心とした自然観察講座「雪形探訪」を開催します。16回目となる今回は、白馬岳の「代掻き馬」、鹿島槍ヶ岳の「鶴」「獅子」などの雪形がある北アルプス方面をバスで訪れます
 日時 5月11日(日)
 午前8時20分～午後4時
 コース 田淵行男記念館(8時20分)～大町山岳博物館～姫川源流～昼食～落倉自然園(貞隣寺)～田淵行男記念館(16時)
 講師 飯沼冬彦さん(市文化財保護審議会委員)
 定員 28人
 受講料 2,200円(受講料、昼食代、入館料、保険料など)
 ※別にバス代の実費負担をお願いいたします。

申し込み 4月30日(水)～5月7日(水)までに、受講料を添えて田淵行男記念館窓口までお申し込みください(先着順)
 田淵行男記念館(TEL・FAX72・964)

古代からのメッセージ

高橋節郎 寄贈作品 1999年制作

縦長の大きな漆パネル作品です。高橋作品では、黒漆塗りの画面に、金の線の文様が表され、光沢のある貝殻や真珠、サンゴなどがちりばめられている平面作品が非常に多いのですが、この作品のように、朱漆が全面に塗られ文様が黒漆で表されているものはまれです。主題は「古代」ですが、縄文時代の遺跡から、土器やくしに朱漆を塗ったものが出土していますので、同じ朱漆を象徴的に用いたと考えられます。高橋さんは幼少時代に穂高地区の遺跡でよく遊んだそうです。その時に、あこがれをもって思い描いた古代世界のイメージが、後に作品の中に表されたのです。



安曇野高橋節郎記念美術館 (TEL81・3030 FAX82・0551)